

日 時：平成 28 年 5 月 26 日（木）18 時 30 分～20 時 12 分

場 所：碓ヶ関公民館

対象地区：駅前・下町・仲町・おかりや・上一・上二・高田・山の上・三笠・川向・
いざよい

参加人数：16 名

■意見交換

内 容
<p>○平川の土手の補修について (市民からの要望、質問)</p> <p>平成 25 年 9 月の台風により平川の土手が崩壊して、3 年連続で町会要望により修復を要求している。毎年度、担当課からは「県に要望した」という回答である。県からの回答はどのようなものであるか教えて欲しい。</p> <p>その崩壊箇所が草で隠れてしまい、非常に危険な場所となっている。県で早急に対応出来ないのであれば、市の方で危険箇所である旨を周知するよう応急的な対応をしてもらいたい。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・質問の平川左岸の崩壊箇所については、町会長が言われたとおり、平成 26 年度から 3 年連続で町会要望をいただいている。・土木課でも現場は確認しており、毎年度、県へ要望を出している。今年度、県と打合せをした内容では、今年度で工事を完成する予定となっている。しかし、まだ工事の発注までには至っていない。工事を発注すれば、町会長へ連絡する。・現場が危険であることについての周知等の対応は、工事発注までの間、土木課において、杭打ち、ロープを張る等の対応を速やかに実施する。
<p>○まちづくり懇談会の時間について (市民からの要望、質問)</p> <p>昨年度も参加させて頂いたが、時間が足りなく質問することが出来なかった。これについて、事前に質問を受付ける制度を考えてみてはどうか。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・行政側から事前に質問を収集してはいない。町会側から予め質問をまとめて、あげていただいている町会もある。

○過去にまちづくり懇談会で上がった質問、意見について

(市民からの要望、質問)

まちづくり懇談会は3年目となると思われる。各年度における質問、意見の件数が何件なのか。また、要望や意見に対する解決、未解決などの対応状況等について管理、公開しているのか教えて頂きたい。

(市の回答)

- ・まちづくり懇談会であげられた質問、要望への対応状況は管理している。これは公開していないが隠すものではないので、必要であれば何らかの形で公開したいと思う。

○道の駅庭園の板塀の倒壊箇所について

(市民からの要望、質問)

ゆうえい館の橋の欄干が強風で倒れ、同時に、近くで民家と隔てている板塀の一部が倒れている。橋は修理されたが、板塀は倒れたままである。これについて、市で把握しているかどうか、また、いつ対応するのか。

(市の回答)

- ・道の駅庭園の板塀の倒壊に関しては確認している。見積りまで取っているが、まだ修理までは至っていないので早急に対応したい。全体的に腐食しているように見られるので、まだ倒壊していない部分を含め、検討中である。

○碓ヶ関地域における地域活性化の取り組みについて

(市民からの要望、質問)

碓ヶ関地域に関する産業、事業等を何か検討していれば教えて頂きたい。

(市の回答)

- ・碓ヶ関地域の産業振興については、一次産業に頼らざるを得ないのかなと思う。何とかこの地域に産業振興をもってこようと様々やってみたが、非常に難しいのが現状である。若い世代がこの地で仕事をしていける状況を作ればいいのだが、なかなかそういう場を設けることが出来ない。若い人が地域から離れていくという状況を抑えることが出来ない。
- ・総合戦略の中では、平川市の人口が全体的に減少していく状況にあり、どのような形で人口減少を抑制するか、子どもの数を増やすか、若者が定着できるような環境づくりを進めるかと検討した。碓ヶ関地域が平賀・尾上に比べて、人口の減少の割合が多かった。この碓ヶ関地域をどのように存続させて、どのようにして家族の形態を守りながら、生活を守っていくかということが、これから大きなテーマとなっていくと思われる。
- ・地域に雇用の場が無くても弘前・平賀地域等30分圏内に働く場があって、生活は碓ヶ関という考え方もあるかと思う。そういった中で碓ヶ関は温泉や観光、施設など、地域の特徴を活かしながら存続させていくかを、今年から弘前大学と共同で一緒に研究してい

くということを考えている。大学の先生や生徒達と、地域の皆さんの声や意見を聞いたり、話合ったりして、地域の将来や魅力など、そういったことを今年一年かけて取りまとめてみたい。その中で実施出来るものであれば、行政で取り組んでみたいと思う。

(市民からの要望、質問)

今の件について、私は碓ヶ関で生まれ育ったので、街が廃れていくのが見るに堪えない。現在、碓ヶ関で頑張っているのは、道の駅だと思う。土日祝日は、客が多く来ているので、出来ればこれを核としてやれないかなと思う。昔は観光地で温泉旅館もあったが、今は中心地に宿泊施設がない。これを道の駅とタイアップするなどして、何か出来ないかなと思う。また、農家と手を結んでやれば、何か打開策になるかなと思う。農家も物を作っても売れなければ誰も作らないし、どこかで売れる、お客が来る場所を作るなど、市の方でバックアップしていただければと思う。

○三笠山について

(市民からの要望、質問)

碓ヶ関温泉で有名であったが、ホテルも旅館もなくなってしまった。だが、碓ヶ関のシンボルとして三笠山がある。この三笠山は冬になると枝が折れたりして、道路が散らかったりするので、きれいにしたい。

(市の回答)

- ・今年、作成した市のプロモーションビデオにも三笠山の紅葉の景色を使わせていただいた。一昨年の懇談会の中で、三笠山の橋の修理の話があり、その修理は実施した。地域の皆さんから観ると、まだやらなければならないことがあるようなので、相談しながらやらせて頂きたい。
- ・三笠山の道路沿いの松の木などの枝が危ない箇所について、市で枝切りをしてかなりきれいにした。また、ここ何年か高速道路敷地内の木がかなり大きくなり、展望の邪魔をしていたので、高速道路に要請し、最近対処してもらった。倒れている白樺についても、対処する。

○公民館の施設、設備について

(市民からの要望、質問)

公民館が総会や夏祭りなどの地域活性化のために使用されているが、トイレの入口に段差があること、洋式便器が障害者用の一つしかないことに皆困っているという話があるので、改善して頂きたい。

(市の回答)

- ・現在の碓ヶ関庁舎が耐震基準を大幅に満たしていないため、ここ2、3年の間に公民館に支所の機能を移したいと計画している。実施となった場合には、バリアフリーになるように直していきたいと思う。

○朝5時のチャイムについて

(市民からの要望、質問)

朝5時のチャイムが無くなるということであったが、農家が多いので残して欲しい。別にうるさいとは思わないし、リズムだと思う。少数意見でうるさいという人がいるかもしれないが、生活のリズムになっているので残していただきたい。

(市の回答)

- ・防災無線が変わったことにより、若干位置が変わったり、チャイムのメロディも変わった。これに対して、市役所へ苦情がきている。リズム、慣れというものも分かるが、この問題については市としても悩んでおり、今は一旦止めてみようかと思っている。
- ・この問題は、地域で解決してもらうのが一番である。他の地区では、朝の5時頃放送が入っていたが、うるさいという声があり、6時まで放送しないという取り決めをし、今でも守られているところもある。
- ・朝のチャイムは碓ヶ関地域のみとのことなので、若い世代や転入者の中には、起されず寝ていたいという人もいると思う。これについては難しいところであり、行政では決めることが出来ない部分であるため、何とか話し合いで解決出来ないものかと思う。

(市民からの要望、質問)

少数意見の苦情があるからといって止めるのではなく、時間を遅くするとかにすれば良いと思う。

(市の回答)

- ・チャイムを6時に出来ないか検討してみる。

○ふるさと納税について

(市民からの要望、質問)

平成27年度の話である。ある食堂で自然薯使ったおいしい中華そばがあったが、ふるさと納税の返礼品に使われたことにより手に入らなくなり、長いものを代用し、味が落ちたと風評被害にあっていると聞いた。地元で使えなくなるほど、ふるさと納税の返礼品に力をいれるのはいかなものか。

(市の回答)

- ・27年度のふるさと納税については、金額で1億6千万を超え、件数では1万2千数百件である。市ではふるさと納税の寄付に対し、返礼品を送り、送料を負担している。
- ・今年度、このふるさと納税の寄附金を基にした「ふるさと元気応援事業」という事業を立ち上げさせて頂いた。この事業は、ふるさと納税をする納税者に寄附金の使い道として、5つの元気応援事業項目の中から応援する事業を選択していただくものである。その内訳は、一番多いのが農業を応援したいという人で3割強、子ども達を応援したいという人が約3割、とにかく平川市を応援したい人も約3割で、他に平川市の観光を応援

したい人、平川市のみどりを応援したい人という内訳になっている。昨年の寄附金の一部はふるさと応援事業として、平川市駅前地区の活性化や子育て支援などに使わせて頂いている。

- ・昨年度のふるさと納税の返礼品の内訳のほとんどは、りんごである。あとは平川市の特産品であり、物産協会を出しているものである。その中に、自然薯そばが含まれた道の駅セットなどがあるが、件数としてはそんなに出ていないのではないかとと思われる。自然薯については、作り方が難しいということで、生産量が少なくなってきたと聞いている。ふるさと納税の返礼品によって、お話のような状況になったのではないと思う。

○教育について

(市民からの要望、質問)

3月議会で碓ヶ関小中学校の一貫教育について質問されていましたが、その後どうなったのか。

(市の回答)

- ・一貫教育というよりは、小、中併置という形になるかと思う。ご承知のとおり、碓ヶ関小学校は老朽化が進んでおり、先日の強風で屋根が飛んだりした。早急に対応したいと思うが、直ぐに建て直すことも出来ない。小、中学校を一緒にして、併置にする。そのためには、支所を移さなければならないとしている。
- ・小学校は老朽化が進んでいて、限界のところまで来ている。併置校をすすめていくために、地域やPTAの方々の賛同が必要である。そのための説明会も開催されていて、これから進んでいくことになると思われる。

○直通バスの運行について

(市からの報告)

- ・地域の要望事項であるか確認するためにアンケートを実施した。バスがあれば使いたいという回答が4割を越えていたので、実証実験として8月から10月までの3カ月の期間で実施することとした。
- ・久吉、船岡、上町、碓ヶ関支所、ホームックニコット、碓ヶ関駅前、古懸、平川市役所、文化センター、マックスバリュー平賀店という片道である。午前、午後の一回ずつ運行し、運賃は大人200円、子ども100円となっている。このような内容で直通バスは走らせることとなる。

○碓ヶ関総合支所における議会傍聴について

(市民からの要望、質問)

時々、民放が入ったりして、傍聴が難しかった。

(市の回答)

- 昨年の12月に実施したときは、パソコンの機能不足により、止まったりしていたが、パソコンを変えたことにより改善されている。